



## 火星の最接近 12月1日

12月1日に2年2か月ぶりの火星接近です。

最接近時の距離は8,145万kmで、2018年の大接近に比べると1.4倍遠い(見かけが3割ほど小さい)です。

軌道の関係で、火星が太陽と反対側にくる衝は8日です。衝の時の明るさは-1.9等級で、普通の一等星の5.8



火星接近と大きさの比較 (ステラナビゲータ11を使用して作図)

倍の輝きです。正しくは14.5倍です。

次回の接近(2025年)は、もっと遠く、暗くなりますので、今回をお見逃しなく!

## ふたご座流星群が極大

12月14日に、ふたご座流星群が極大となります。今年の極大は14日の20時と予想されていますので、14日の月が出る22時まで期待しましょう。

### [こよみと天文現象]

月	日	曜	主な天文現象など
11	16	水	●下弦(22時)
	18	金	しし座流星群が極大のころ
	21	月	夕空低空で水星と金星が接近
	22	火	小雪(太陽黄経240°)
	23	水	勤労感謝の日
	24	木	●新月(8時)
	26	土	月が最近(362,826km)
	29	火	月と土星がならぶ
	30	水	●上弦(24時)

月	日	曜	主な天文現象など
12	1	木	火星最接近
	2	金	月と木星がならぶ
	5	月	月と天王星がならぶ
	6	火	月とすばるがならぶ
	7	水	大雪(太陽黄経255°)
	8	木	○満月(13時)/火星が衝 月と火星がならぶ
	11	日	月とポルックスがならぶ
	12	月	月が最遠(405,869km)
	14	水	ふたご座流星群が極大(20時)

石坂 千春(科学館学芸員)